



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 株式会社 バナーズ
コード番号 3011 URL <http://www.banners.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 由佳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大内 修

TEL 048-523-2018

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,028	13.5	76	111.6	69	199.3	55	217.0
2022年3月期第2四半期	1,787	17.7	36		23		17	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 57百万円 (206.1%) 2022年3月期第2四半期 18百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	3.49	
2022年3月期第2四半期	1.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	9,007	2,346	25.9	146.37
2022年3月期	9,136	2,336	25.4	145.88

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,330百万円 2022年3月期 2,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				3.00	3.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,988	1.6	167	3.7	141	3.4	116	17.3	7.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	20,236,086 株	2022年3月期	20,236,086 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	4,311,983 株	2022年3月期	4,311,819 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	15,924,169 株	2022年3月期2Q	16,174,617 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和され、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる一方で、世界的な金融引締めによる海外景気の下振れの影響や物価上昇及び金融資本市場の変動等による下振れリスク等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境下におきまして、当社グループは全社を挙げて各事業の特性及び付加価値性を活かした事業活動を推進いたしました。

不動産利用事業におきましては、埼玉県本庄市の既存物件の再開発を継続するとともに、埼玉県本庄市児玉町の既存物件の主要構造部分の修繕工事を実施いたしました。埼玉県本庄市の再開発のうちの残り1棟の開発につきましては大きな進展はありませんが、継続して対応を進めております。建築資材の市場価格の変動や金利動向等を注視して、引き続き好条件の賃貸用物件の取得に向けて積極的に取り組んでまいります。

自動車販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染防止に取り組み、お客様に安心してご来店頂ける環境作りに注力して営業活動を行ってまいりました。本年9月1日には新型車の「シビック タイプR」が発売され、高価格車ながら好評を得ております。しかしながら、新車生産に必要な部品の供給不足は依然として解消されておらず、納期の長期化は複数の車種に及んでおりますが、インターネットやSNSを利用した宣伝を足掛かりに顧客への接触から各種提案に取り組むとともに、経費削減にも注力した結果、業績は前年同四半期を上回りました。

楽器販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が次第に緩和されるなかで来店客数も徐々に増え、演奏会やコンクール及び学校の部活動や市民団体の活動等も再開され始めて、楽器本体や消耗材等の関連商品の需要の増加傾向がみられました。さらなる売上増加を図るため、万全なウイルス感染対策を継続するとともに独自イベントの開催やキャンペーンを実施し、インターネットやSNSを活用した宣伝活動の頻度向上に努めた結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,028百万円（前年同四半期比113.5%）、営業利益76百万円（前年同四半期比211.6%）、経常利益69百万円（前年同四半期比299.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益55百万円（前年同四半期比317.0%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産利用

売上高は200百万円（前年同四半期比103.3%）、セグメント利益は122百万円（同91.7%）となりました。

②自動車販売

売上高は1,570百万円（前年同四半期比112.4%）、セグメント損失は8百万円（前年同四半期はセグメント損失39百万円）となりました。

③楽器販売

売上高は258百万円（前年同四半期比131.2%）、セグメント利益は22百万円（同822.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比128百万円減の9,007百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比138百万円減の6,660百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比10百万円増の2,346百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,518,326	1,372,467
受取手形及び売掛金	82,405	86,479
商品及び製品	665,380	570,789
原材料及び貯蔵品	3,999	4,344
前渡金	44	—
前払費用	9,132	18,018
短期貸付金	66	66
1年内回収予定の長期貸付金	—	180,000
その他	13,369	9,008
貸倒引当金	△2,046	△2,246
流動資産合計	2,290,677	2,238,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,135,969	4,137,527
減価償却累計額	△1,770,461	△1,831,484
建物及び構築物 (純額)	2,365,508	2,306,043
機械装置及び運搬具	171,325	190,932
減価償却累計額	△73,991	△89,039
機械装置及び運搬具 (純額)	97,334	101,893
工具、器具及び備品	79,161	79,992
減価償却累計額	△50,454	△53,904
工具、器具及び備品 (純額)	28,706	26,088
土地	3,852,464	4,027,223
リース資産	33,757	16,929
減価償却累計額	△23,884	△7,701
リース資産 (純額)	9,872	9,228
建設仮勘定	17,785	1,087
有形固定資産合計	6,371,673	6,471,564
無形固定資産	2,989	2,726
投資その他の資産		
投資有価証券	1,502	1,502
長期貸付金	387,405	207,372
繰延税金資産	66,903	70,306
その他	26,548	26,487
貸倒引当金	△11,269	△11,269
投資その他の資産合計	471,089	294,399
固定資産合計	6,845,752	6,768,690
資産合計	9,136,429	9,007,617

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	239,536	193,308
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	271,032	265,250
1年内返還予定の預り保証金	55,587	55,887
未払金	18,936	30,437
未払費用	25,961	25,864
未払法人税等	11,882	16,566
未払消費税等	53,489	28,384
賞与引当金	13,759	15,694
前受金	278,794	298,038
その他	19,088	22,375
流動負債合計	1,588,068	1,551,807
固定負債		
長期借入金	2,962,276	2,881,708
役員退職慰労引当金	17,190	14,887
退職給付に係る負債	102,653	108,509
預り保証金	1,309,156	1,287,137
長期前受収益	92,746	89,481
再評価に係る繰延税金負債	718,180	718,180
その他	9,407	9,116
固定負債合計	5,211,610	5,109,021
負債合計	6,799,679	6,660,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	576,022	576,022
利益剰余金	548,549	556,418
自己株式	△748,550	△748,570
株主資本合計	683,391	691,241
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,639,601	1,639,601
その他の包括利益累計額合計	1,639,601	1,639,601
非支配株主持分	13,757	15,945
純資産合計	2,336,750	2,346,788
負債純資産合計	9,136,429	9,007,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,787,901	2,028,579
売上原価	1,350,758	1,566,020
売上総利益	437,143	462,558
販売費及び一般管理費	400,768	385,581
営業利益	36,374	76,977
営業外収益		
受取利息	3,088	2,864
受取配当金	58	58
その他	2,064	7,271
営業外収益合計	5,211	10,195
営業外費用		
支払利息	18,087	17,112
その他	351	789
営業外費用合計	18,438	17,902
経常利益	23,146	69,269
特別損失		
固定資産除却損	105	—
特別損失合計	105	—
税金等調整前四半期純利益	23,041	69,269
法人税等	4,148	11,439
四半期純利益	18,892	57,830
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,337	2,187
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,555	55,642

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	18,892	57,830
四半期包括利益	18,892	57,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,555	55,642
非支配株主に係る四半期包括利益	1,337	2,187

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,041	69,269
減価償却費	96,206	92,889
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,930	5,856
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,579	△2,302
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,208	199
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,355	1,934
受取利息及び受取配当金	△3,146	△2,923
支払利息	18,087	17,112
固定資産除却損	105	—
売上債権の増減額 (△は増加)	47,170	15,169
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△43,623	64,152
仕入債務の増減額 (△は減少)	△128,512	△46,227
未収消費税等の増減額 (△は増加)	59,193	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6,457	△25,104
預り保証金の増減額 (△は減少)	△27,447	△25,583
その他の資産・負債の増減額	△15,266	7,392
小計	41,923	171,837
利息及び配当金の受取額	2,763	2,765
利息の支払額	△14,326	△13,671
法人税等の支払額	△3,073	△10,586
法人税等の還付額	11,133	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,420	150,344
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22,200	△31,000
定期預金の払戻による収入	18,000	54,000
有形固定資産の取得による支出	△58,467	△159,872
貸付金の回収による収入	33	33
その他の支出	△250	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,885	△136,840
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	35,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△99,400	△136,350
自己株式の取得による支出	△35	△19
配当金の支払額	△31,711	△47,428
リース債務の返済による支出	△3,566	△1,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,712	△135,764
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△124,177	△122,259
現金及び現金同等物の期首残高	1,424,006	1,389,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,299,829	1,266,979

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、一部の連結子会社において、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	193,633	1,397,427	196,841	1,787,901	—	1,787,901
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,912	72	—	30,985	△30,985	—
計	224,546	1,397,499	196,841	1,818,887	△30,985	1,787,901
セグメント利益又は 損失(△)	133,668	△39,973	2,743	96,438	△60,063	※ 36,374

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△60,063千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	200,119	1,570,148	258,311	2,028,579	—	2,028,579
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,840	72	—	30,912	△30,912	—
計	230,959	1,570,220	258,311	2,059,491	△30,912	2,028,579
セグメント利益又は 損失(△)	122,561	△8,218	22,549	136,893	△59,916	※ 76,977

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△59,916千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益